

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

2006年24週

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数

男女別

推移グラフ

保健所別

保健所別(定点当たり)

年齢階級別

- 病原体・抗体検査情報

週別検出状況

臨床診断名別検出結果

- 感染症豆知識「E型肝炎」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

e-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2006年24週》

(全数把握対象疾患)

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
三類	腸管出血性 大腸菌感染症	8	O157 VT2 5件 O157 VT1・VT2 3件 推定感染経路:経口感染 1件、 接触感染 1件、不明 6件	国内
			四類	
五類	アメーバ赤痢	2	腸管アメーバ症 推定感染経路:同性間性的接触 1件、 異性間性的接触 1件	国内1件、台湾1件
	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	1	推定感染経路:創傷感染	国内
	後天性免疫不全 症候群	10	無症候性キャリア 7件 AIDS 2件 その他 1件 推定感染経路:同性間性的接触 9件、 両性間性的接触 1件	国内8件 国外(感染地域不明)2件
	梅毒	8	無症状病原体保有者 2件 早期顕症梅毒Ⅰ期 4件 早期顕症梅毒Ⅱ期 2件 推定感染経路:異性間性的接触 7件、 性別不明性的接触 1件	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

(定点把握対象疾患 -小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点-)

- ・咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、引き続き高い値で推移している。
- ・ヘルパンギーナがさらに増加しており、例年のピーク値に近づきつつある。
- ・定点報告では、インフルエンザについて特に目立った動きは認められていない。

(検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
急性咽頭炎	0	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
百日咳	7M	鼻汁	パラインフルエンザウイルス1型	
急性気管支肺炎	4	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	
夏かぜ	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
不明発しん症	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス	
不明発しん症	2	咽頭拭い液	EBウイルス	
不明発しん症	11	咽頭拭い液	EBウイルス	
不明発しん症	3	咽頭拭い液	EBウイルス、 ヒトヘルペスウイルス6型、7型	
不明発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
不明発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
不明発しん症	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
ウイルス性発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 マイコプラズマ	
風しん様発しん症	6	咽頭拭い液	風しんウイルス	
アデノウイルス感染症	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
川崎病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
不明熱	9M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス、 ヒトヘルペスウイルス6型	
熱性けいれん	1	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型	
感染性胃腸炎	10	糞便	ノロウイルス A群ロタウイルス	
喘息性気管支炎	6M	咽頭拭い液	ポリオウイルス1型	分離*
不明発しん症	0	咽頭拭い液	ポリオウイルス1型	
湿しん	1	発しん擦過物	アデノウイルス3型	
急性胃腸炎	0	糞便	ポリオウイルス2型	
難聴	1	咽頭拭い液	アデノウイルス5型	

* 遺伝子検査で既に報告済みの検体

ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス			サポウイルス	ロタウイルス
			G I	G II	G I + G II		
施設内感染疑い または食中毒等	99	3	1	0	0	2	0

定点医療機関からのコメント

大田区保健所

- ・アデノウイルス感染症に5月から6月にかけて2回かかっている子が多い。結膜炎がひどい、浸出性扁桃炎があるなど、症状が少しずつちがう。

練馬区保健所

- ・突発性発しん(4歳女児) 1例

八王子保健所

- ・ウイルス性と思われる発しん症が多くなっています。

全数把握対象疾患 患者報告数 2006年24週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計*
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ			2		3		19
	細菌性赤痢					28	4	191
	ジフテリア							
	腸チフス					12		40
	パラチフス					9		13
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	3	8	44	72	558
四類	E型肝炎		1			1		35
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1	1		21	4	195
	エキノコックス症							11
	黄熱							
	オウム病					3	4	9
	回帰熱							
	Q熱							
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病						21	101
	デング熱					4	1	17
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	6
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症					1		2
	発しんチフス							
ボツリヌス症							1	
マラリア					7		23	
野兔症								
ライム病						1		
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	2	3	2	3	27	6	157	
レプトスピラ症								
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	5	3	2	80	10	287
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1		1		17	4	97
	急性脳炎					4		85
	クリプトスポリジウム症					5		7
	クロイツフェルト・ヤコブ病					9	1	77
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	7		57
	後天性免疫不全症候群	7	14	4	10	205	16	505
	ジアルジア症			1		11	1	34
	髄膜炎 菌性髄膜炎					1		7
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	3		8	48	13	250
	破傷風			1		3		32
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					4	1	32

2006/06/23集計

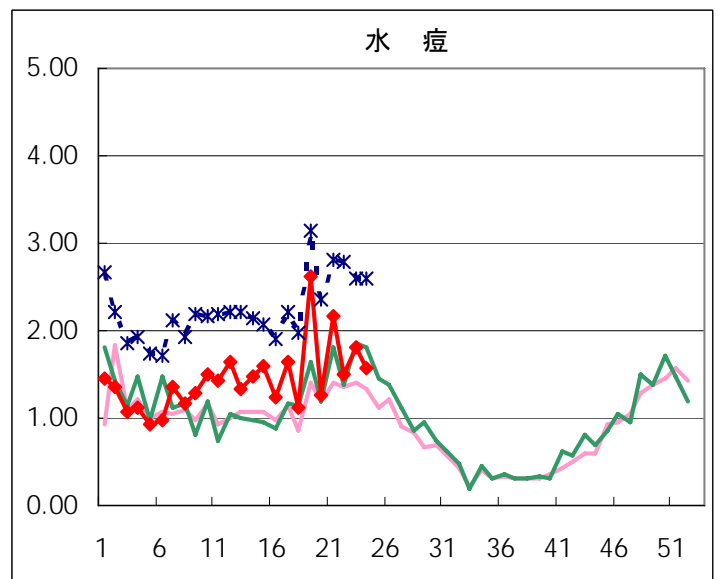
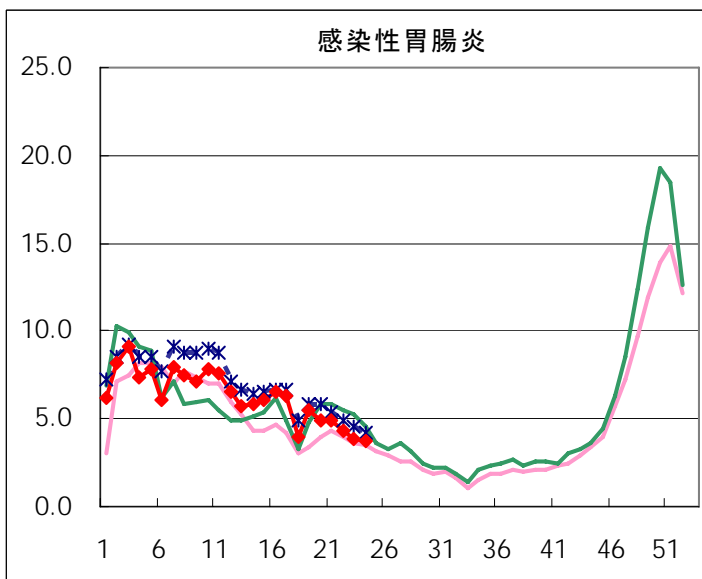
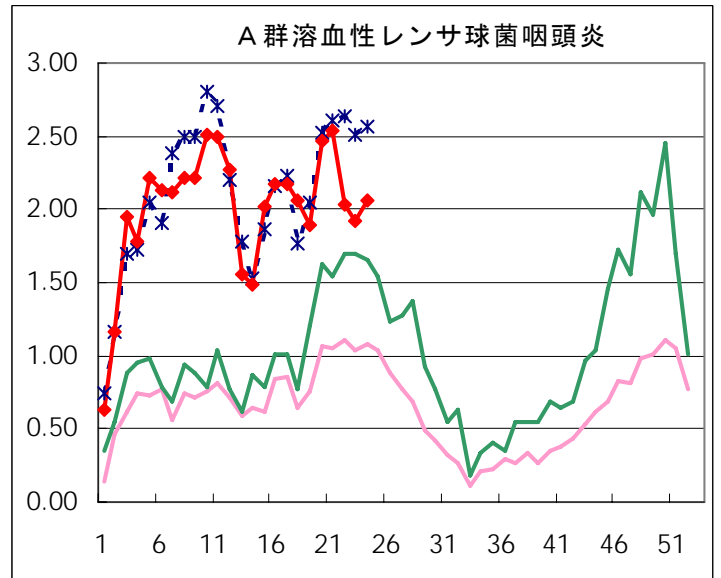
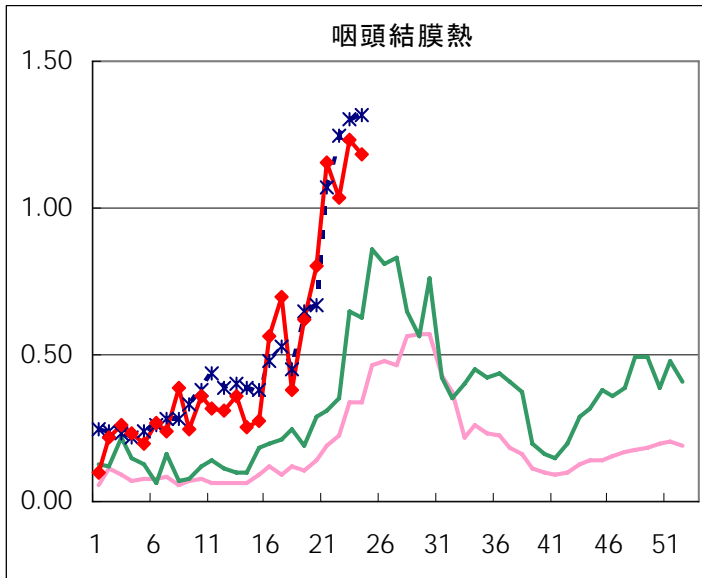
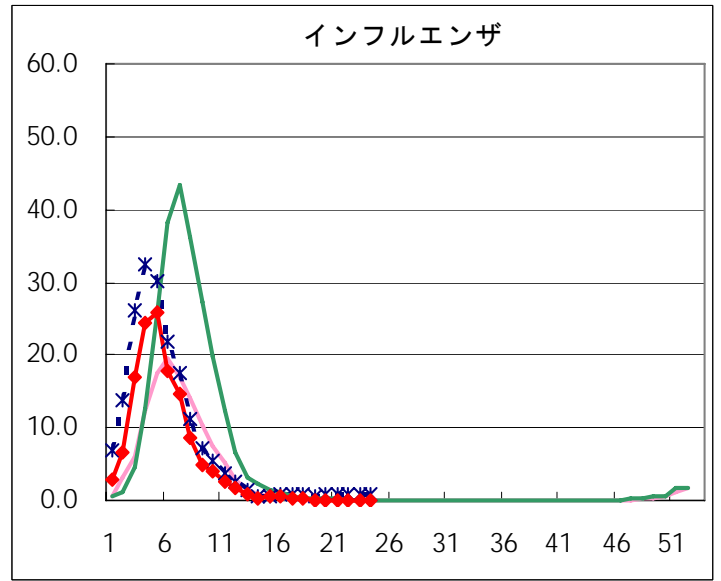
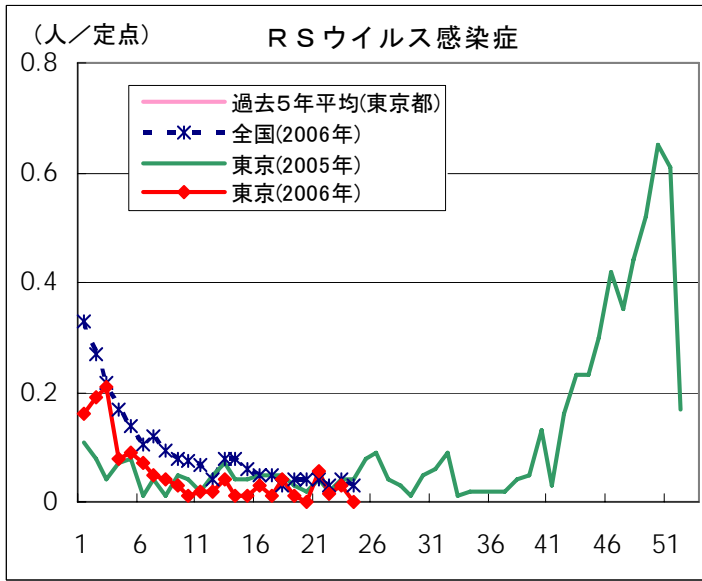
* 23週までの累計値

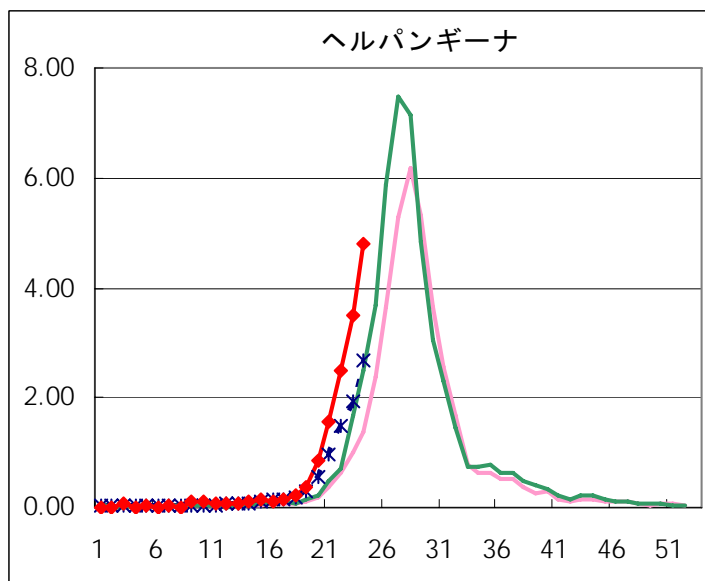
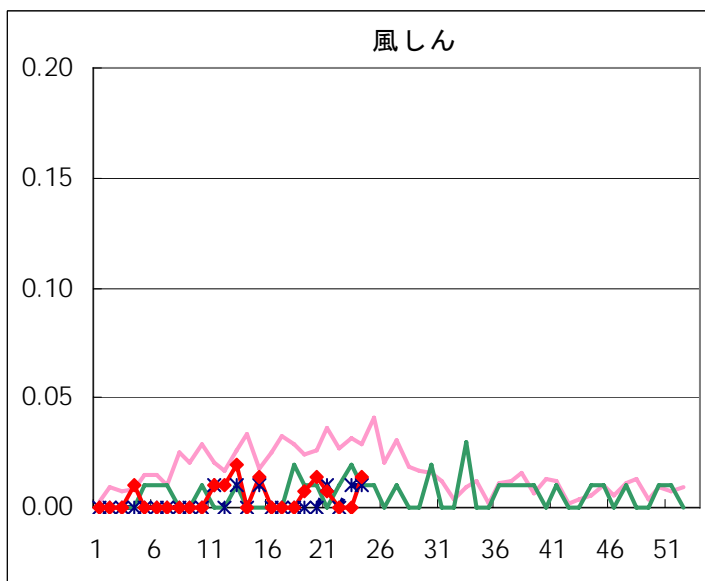
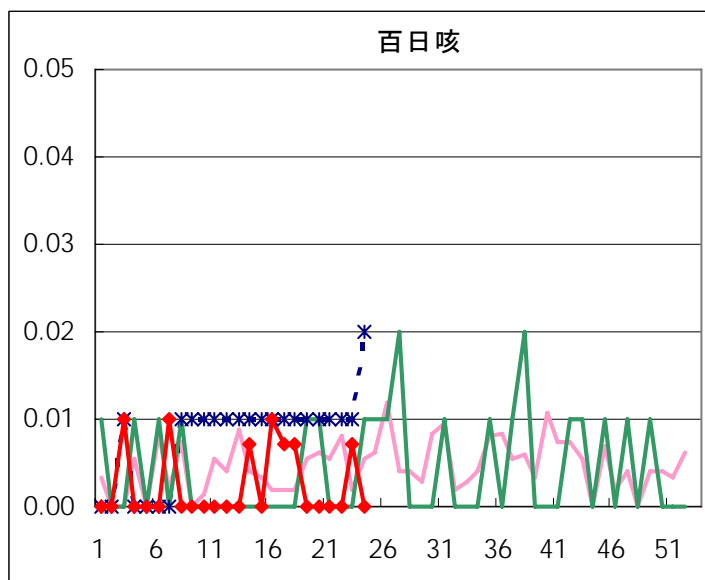
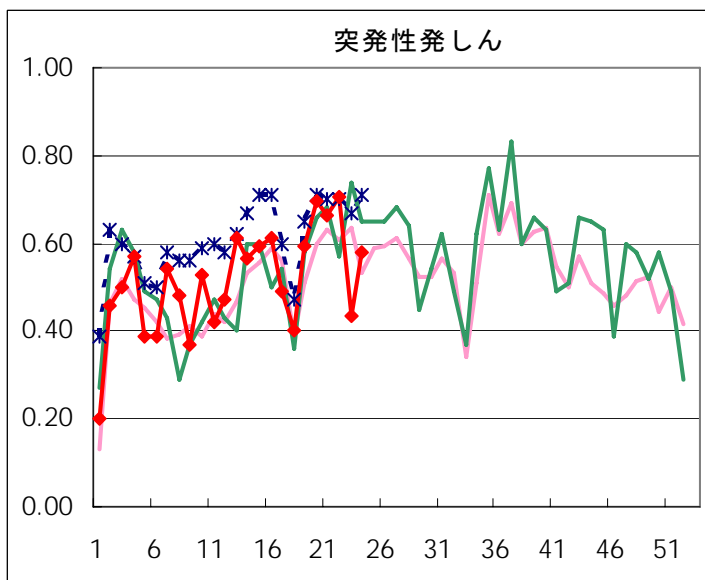
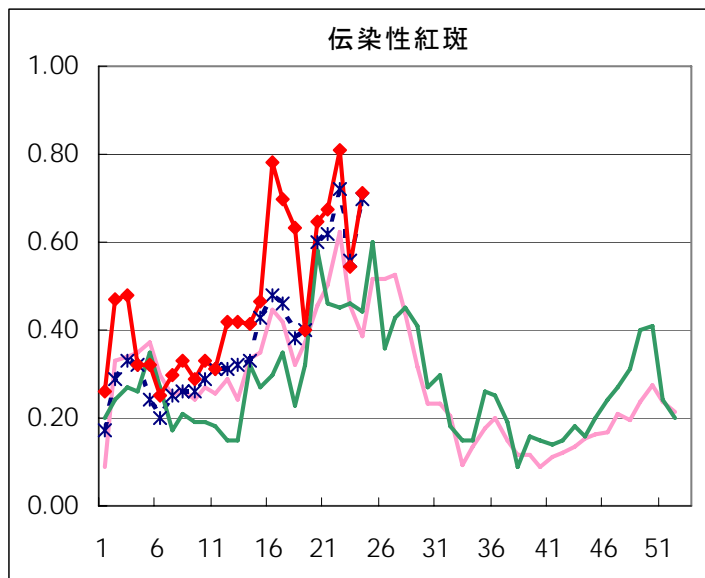
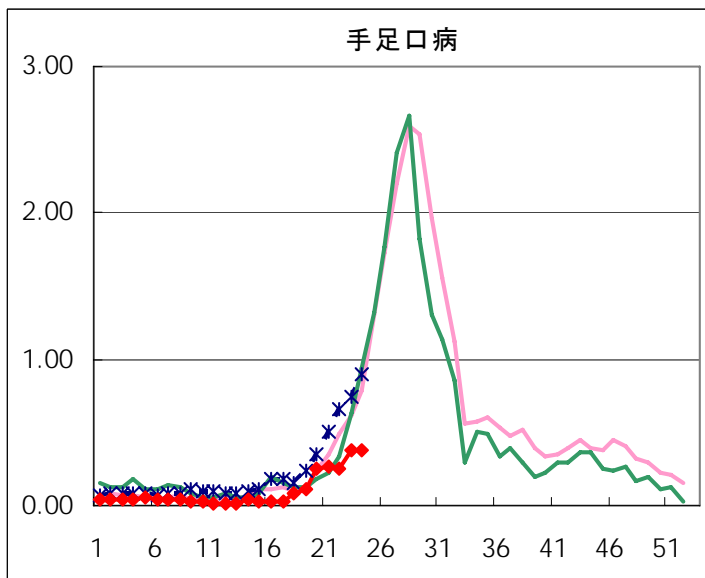
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2006年24週

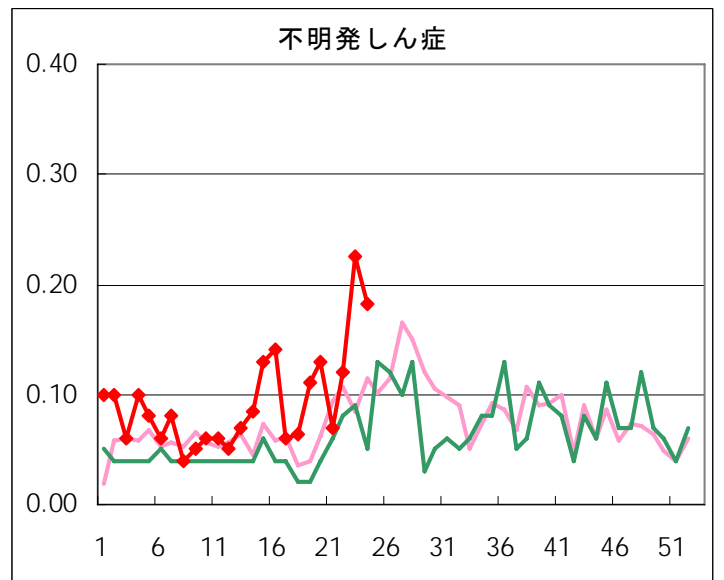
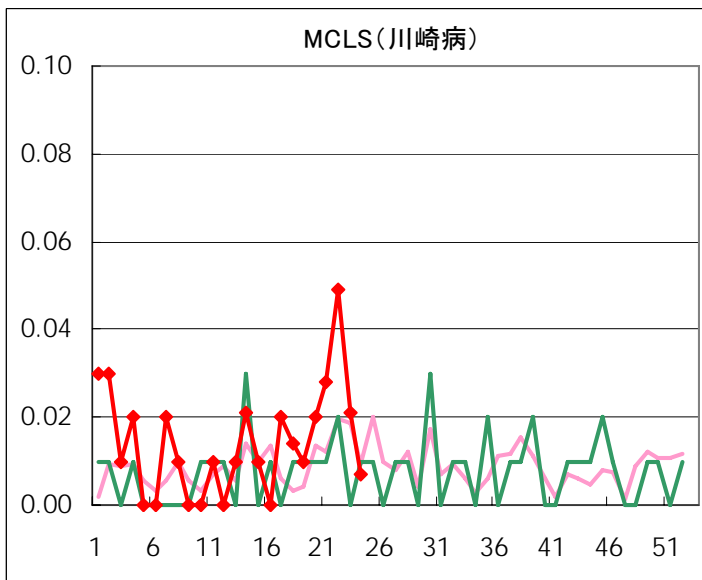
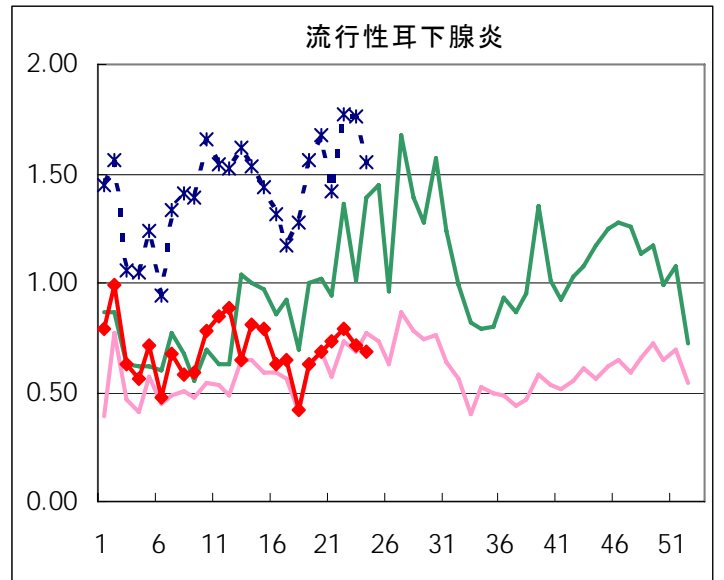
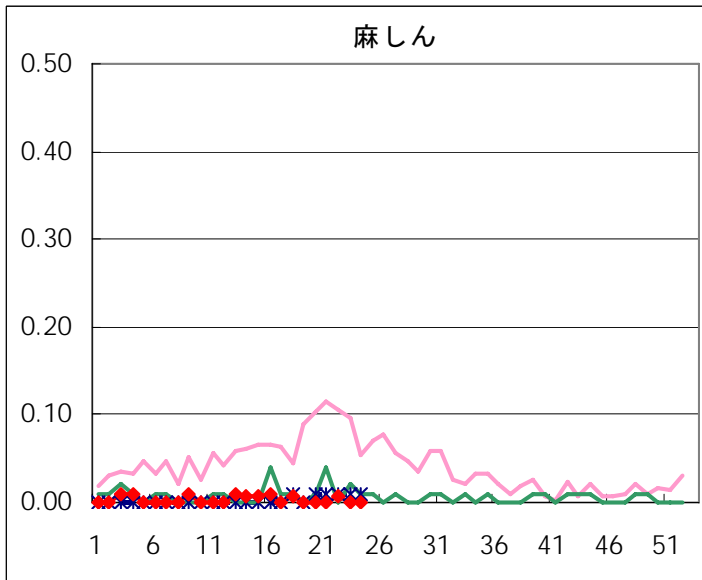
疾病名	性	2006年				4週合計	年累計
		21	22	23	24		
RSウイルス感染症	男	6	1	3		10	102
	女	2	1	1		4	75
インフルエンザ	男	8	1	2	2	13	12,052
	女	3	5	1	3	12	11,864
咽頭結膜熱	男	91	75	94	94	354	888
	女	73	72	81	74	300	773
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	210	156	161	160	687	3,651
	女	150	133	112	132	527	3,174
感染性胃腸炎	男	361	338	276	285	1,260	11,066
	女	340	275	268	249	1,132	10,340
水痘	男	152	106	157	116	531	2,567
	女	155	107	103	107	472	2,355
手足口病	男	26	22	36	31	115	195
	女	11	13	18	22	64	124
伝染性紅斑	男	47	50	45	66	208	828
	女	49	65	32	35	181	775
突発性発しん	男	50	55	29	42	176	920
	女	44	45	35	40	164	825
百日咳	男						5
	女			1		1	3
風しん	男						7
	女	1			2	3	8
ヘルパンギーナ	男	120	204	246	354	924	1,105
	女	103	151	255	329	838	1,028
麻しん(成人麻しんを除く)	男		1			1	9
	女						1
流行性耳下腺炎	男	42	58	43	49	192	1,239
	女	62	54	61	49	226	1,139
不明発しん症	男	6	5	10	12	33	151
	女	4	12	22	14	52	163
MCLS	男	2	5		1	8	25
	女	2	2	3		7	25
急性出血性結膜炎	男						3
	女						1
流行性角結膜炎	男	5	13	7	7	32	120
	女	8	7	9	5	29	94
細菌性髄膜炎	男				1	1	3
	女			1		1	2
無菌性髄膜炎	男				1	1	5
	女						2
マイコプラズマ肺炎	男			1	1	2	28
	女	1	1		1	3	18
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2006年24週現在

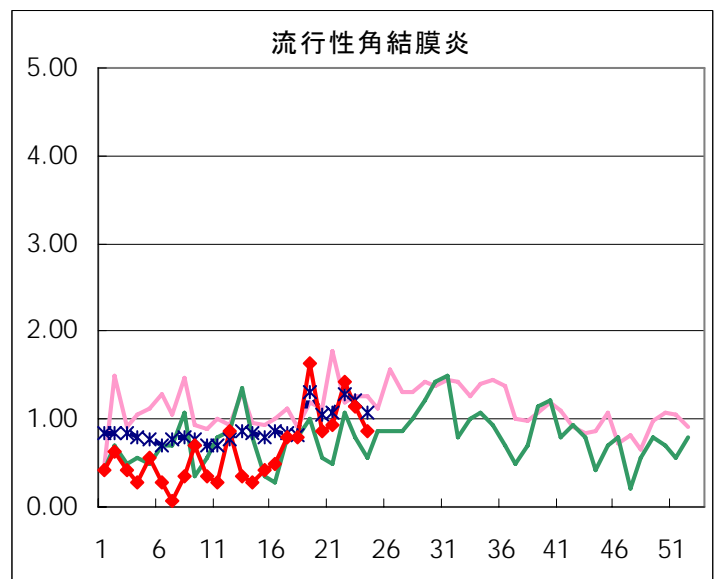
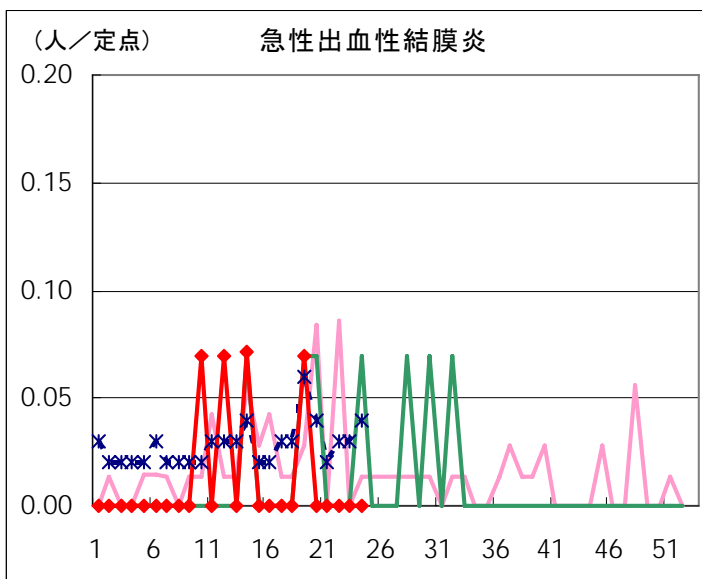
◆ 小児科・インフルエンザ定点



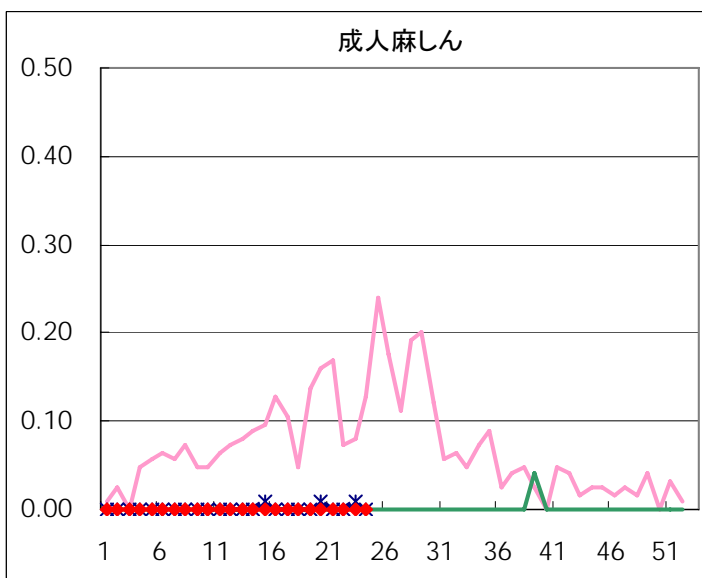
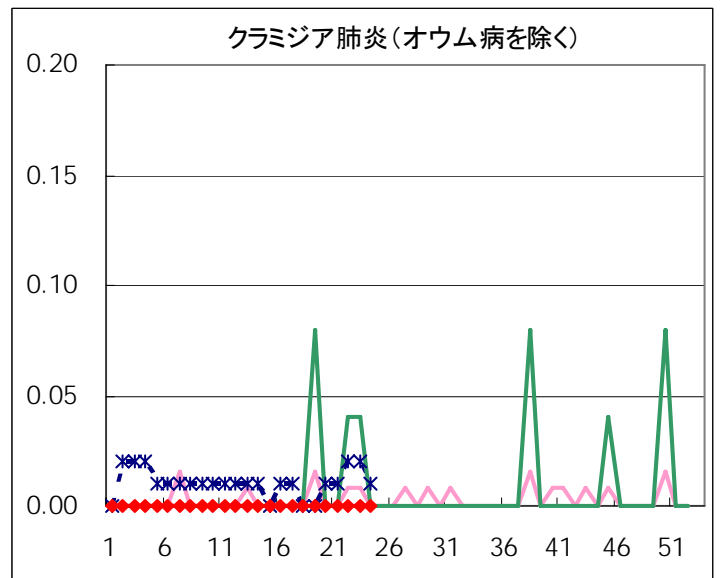
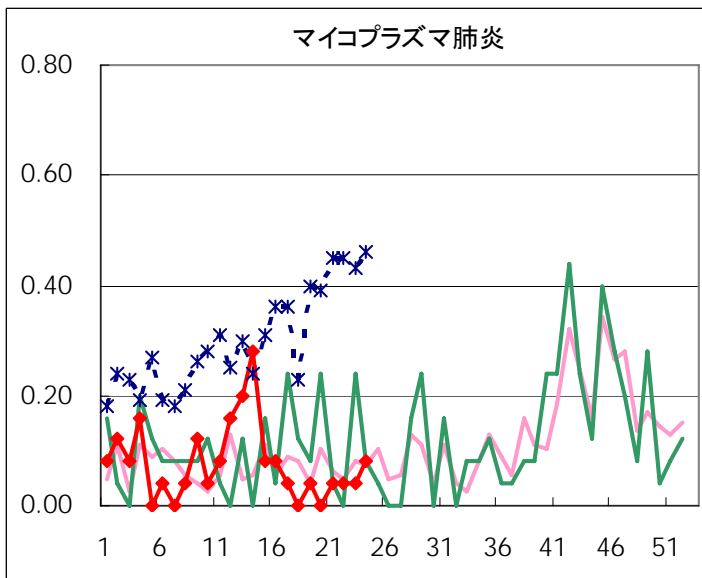
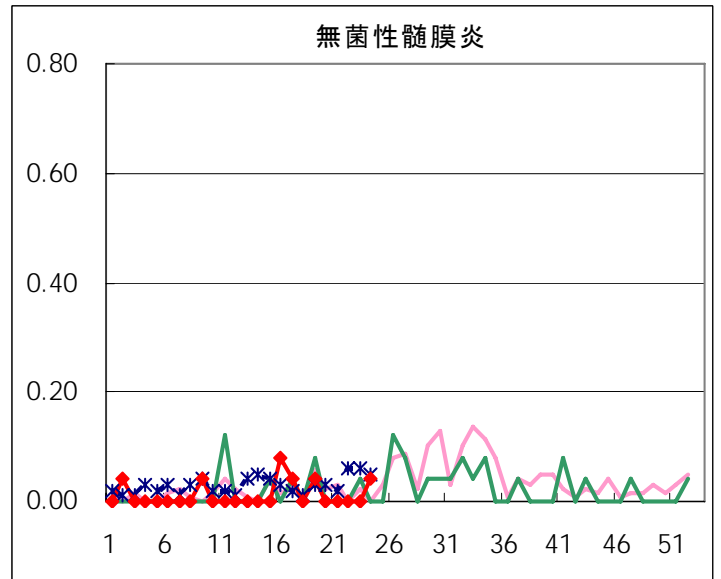
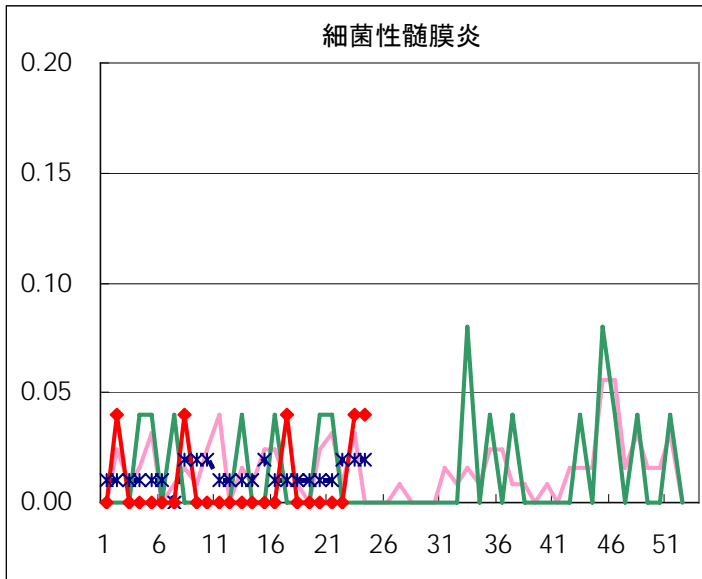




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2006年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田			3	1					1	
中央区				2	1	12		6	1	
みなと			6	9	9	4	4	1	1	
新宿区				7	17	2				
文京			9	3	4	4		4	3	
台東			4	9	15	9	3	2	1	
墨田区				8	15	9			3	
江東区			3	10	24	8	1	6	4	
品川区			4	11	37	10	1	11	1	
目黒区				5	9		2		3	
大田区			52	34	62	10	5	10	5	
世田谷		1	8	11	35	17	3	5	2	
渋谷区			4	3	10	4		1	2	
中野区				7	15	3	1		3	
杉並		1	14	26	57	6	3	4	3	
池袋					1	1	1	1		
北区			1	9	12	2	1	9	6	
荒川区			11	1	17	1	4	3	1	
板橋区				3	13	8	1	1	2	
練馬区		1	7	9	17	9	2		3	
足立			1	4	11	7			3	
葛飾区			1	11	10	18	2	6	4	
江戸川			18	16	15	6	2	1	6	
西多摩			1	10	17	8		4	2	
八王子			1	18	8	2	4	4	2	
南多摩			4	8	9	7	3		4	
町田				12	22	11	3	3	2	
多摩立川			1	3	13	3	4	3	1	
多摩府中			6	18	18	25	2	6	6	
多摩小平		2	8	18	41	17	1	10	7	
島しょ			1	6						

東京都合計	-	5	168	292	534	223	53	101	82	-
定点当り報告数	-	0.03	1.18	2.06	3.76	1.57	0.37	0.71	0.58	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2006年24週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田		1							6
中央区		14							36
みなと		5				1			40
新宿区		11				2			39
文京		5		2		2			36
台東		7		2					52
墨田区	1	9		6			1		52
江東区		34		5		1	1		97
品川区		15		3			1		94
目黒区		9							28
大田区		60		5			2		245
世田谷		45		14			1		142
渋谷区		7		5					36
中野区		21		8					58
杉並		16		6					136
池袋		5				3			12
北区		71		2					113
荒川区		41				1			80
板橋区		7		1			1		37
練馬区		24		9					81
足立		9		2					37
葛飾区		55		4			2		113
江戸川		66					3		133
西多摩		10		2			2		56
八王子		9		2			10		60
南多摩		16		2					53
町田		23		3		2			81
多摩立川		7							35
多摩府中		40		8			1		130
多摩小平	1	40		7			1	1	154
島しょ		1							8

東京都合計	2	683	-	98	-	12	26	1	2,280
定点当り報告数	0.01	4.81	-	0.69	-	0.86	0.18	0.01	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田			0.75	0.25					0.25	
中央区				0.67	0.33	4.00		2.00	0.33	
みなと			1.00	1.50	1.50	0.67	0.67	0.17	0.17	
新宿区				1.17	2.83	0.33				
文京			3.00	1.00	1.33	1.33		1.33	1.00	
台東			1.33	3.00	5.00	3.00	1.00	0.67	0.33	
墨田区				2.67	5.00	3.00			1.00	
江東区			1.00	3.33	8.00	2.67	0.33	2.00	1.33	
品川区			0.67	1.83	6.17	1.67	0.17	1.83	0.17	
目黒区				1.67	3.00		0.67		1.00	
大田区			5.78	3.78	6.89	1.11	0.56	1.11	0.56	
世田谷		0.11	1.00	1.38	4.38	2.13	0.38	0.63	0.25	
渋谷区			1.00	0.75	2.50	1.00		0.25	0.50	
中野区				1.17	2.50	0.50	0.17		0.50	
杉並		0.14	2.33	4.33	9.50	1.00	0.50	0.67	0.50	
池袋					0.20	0.20	0.20	0.20		
北区			0.25	2.25	3.00	0.50	0.25	2.25	1.50	
荒川区			5.50	0.50	8.50	0.50	2.00	1.50	0.50	
板橋区				0.50	2.17	1.33	0.17	0.17	0.33	
練馬区		0.17	1.40	1.80	3.40	1.80	0.40		0.60	
足立			0.25	1.00	2.75	1.75			0.75	
葛飾区			0.25	2.75	2.50	4.50	0.50	1.50	1.00	
江戸川			4.50	4.00	3.75	1.50	0.50	0.25	1.50	
西多摩			0.20	2.00	3.40	1.60		0.80	0.40	
八王子			0.50	9.00	4.00	1.00	2.00	2.00	1.00	
南多摩			1.33	2.67	3.00	2.33	1.00		1.33	
町田				6.00	11.00	5.50	1.50	1.50	1.00	
多摩立川			0.17	0.50	2.17	0.50	0.67	0.50	0.17	
多摩府中			0.60	1.80	1.80	2.50	0.20	0.60	0.60	
多摩小平		0.25	1.33	3.00	6.83	2.83	0.17	1.67	1.17	
島しょ			1.00	6.00						

東京都合計	-	5	168	292	534	223	53	101	82	-
定点当り報告数	-	0.03	1.18	2.06	3.76	1.57	0.37	0.71	0.58	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年24週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田		0.25						
中央区		4.67						
みなと		0.83				1.00		
新宿区		1.83				1.00		
文京		1.67		0.67		2.00		
台東		2.33		0.67				
墨田区	0.33	3.00		2.00			0.33	
江東区		11.33		1.67		1.00	0.33	
品川区		2.50		0.50			0.17	
目黒区		3.00						
大田区		6.67		0.56			0.22	
世田谷		5.63		1.75			0.13	
渋谷区		1.75		1.25				
中野区		3.50		1.33				
杉並		2.67		1.00				
池袋		1.00				3.00		
北区		17.75		0.50				
荒川区		20.50				1.00		
板橋区		1.17		0.17			0.17	
練馬区		4.80		1.80				
足立		2.25		0.50				
葛飾区		13.75		1.00			0.50	
江戸川		16.50					0.75	
西多摩		2.00		0.40			0.40	
八王子		4.50		1.00			5.00	
南多摩		5.33		0.67				
町田		11.50		1.50		2.00		
多摩立川		1.17						
多摩府中		4.00		0.80			0.10	
多摩小平	0.17	6.67		1.17			0.17	0.17
島しょ		1.00						

東京都合計	2	683	-	98	-	12	26	1
定点当り報告数	0.01	4.81	-	0.69	-	0.86	0.18	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2006年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月					5	4			6
～11か月			10	3	35	17	4		39
1歳			30	4	42	30	16	3	33
2歳			21	9	47	23	7	6	1
3歳			22	34	53	48	10	8	
4歳			32	37	60	42	9	16	1
5歳		1	16	58	53	24	5	18	
6歳			10	43	36	20	2	14	1
7歳		1	8	32	32	5		11	
8歳			4	17	21	4		8	1
9歳			1	21	17	1		6	
10～14歳			5	20	43	4		10	
15～19歳		2	3	3	14				
20～29歳		1	6	11	76	1		1	
30～39歳									
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	5	168	292	534	223	53	101	82
先週比	-4	2	-7	19	-10	-37	-1	24	18

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月			3					3	
～11か月			37					5	1
1歳			158		4		1	4	
2歳			139		6			9	
3歳			126		15				
4歳		1	124		21			3	
5歳			42		15		1		
6歳			26		10			1	
7歳			11		7				
8歳		1	8		10				
9歳			2		3				
10～14歳			4		4			1	
15～19歳									
20～29歳			3		3		5		
30～39歳							3		
40～49歳							1		
50～59歳							1		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	2	683	-	98	-	12	26	1
先週比	-1	2	182	0	-6	0	-4	-6	-2

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2006年17週～24週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2006年								
		17	18	19	20	21	22	23	24	
ウイルス	アデノ	3	1	3	3	5	3	4	4	26
	ライノ		4		2	3	1	2	1	13
	ポリオ					1		1	1	3
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71									
	その他のエンテロ		1	1	1	4	2	2	3	14
	単純ヘルペス						1	2		3
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	2	5	2	2	3	4	6	8	32
	EB			4	1	1	3	1	4	14
	サイトメガロ			1	2		2		1	6
	ムンプス			1	1			1		3
	麻疹									
	風しん								1	1
	パルボB19					1	1	1		3
	RS		1				1			2
	ノロ	49	15	13	8	39	1	6	2	133
	ロタ		1	1	1	1	1		1	6
インフルエンザAソ連型										
インフルエンザA香港型										
インフルエンザB型				1					1	
デング			1						1	
その他のウイルス					1	1	1	2	5	
細菌	カンピロバクター		2							2
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌	2		2	7	4				15
	その他の腸管系病原菌	2	3					1	2	8
	溶血性レンサ球菌	3	2			4	5			14
	MRSA									
	MSSA						1			1
	その他の細菌									
その他の病原体			1				1	1	1	4

臨床診断名別検出結果 2006年17週～24週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他の	合計
搬入検体数	4	40	44	833	22	1		1	2	2	5	47	5				134	
アデノ		9	5	2					1		1	2					6	26
ライノ		1	1	2					1			2					6	13
ポリオ			2									1						3
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71																		
その他のエンテロ		7	1						1	1		2					2	14
単純ヘルペス		2	1															3
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7		3			1					1		19	1				7	32
EB		2	1		1						1	5	1				3	14
サイトメガロ													1				5	6
ムンプス													3					3
麻疹																		
風しん												1						1
パルボB19											2	1						3
RS			1														1	2
ノロ				133														133
ロタ				6														6
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型																		
インフルエンザB型	1																	1
カンピロバクター				2														2
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	15	15
その他の腸管系病原菌				3													5	8
溶血性レンサ球菌																	14	14
その他の病原体	1		4									1					5	11
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

<感染症豆知識>

E 型肝炎

E 型肝炎（病原体はHE V）の臨床症状はA 型肝炎と似ています。潜伏期間は 15～50 日で、悪心、食欲不振、腹痛等の消化器症状を伴う急性肝炎症状を呈します。伝播は糞口経路で、主に汚染された水系による感染です。HE V が証明されるのは主に豚ですが、それ以外の動物では鶏、犬、ラット、牛、羊、山羊、ニホンザルがあり、多くの動物がHE V に暴露されている可能性があります。日本でも、生肉の摂食が原因と見られる急性型肝炎例が報告されるなど、E 型肝炎が人獣共通感染症である可能性が強く示唆されています。E 型肝炎の致死率は 1～2%で、A 型肝炎の 10 倍で、特に妊婦が感染すると劇症肝炎の割合が高く、致死率が 20%にも達するとの報告があります。肝臓の病理所見では、胆汁うっ滞性の急性肝炎像が特徴です。HE V の遺伝子はRNA であり、RT-PCR で遺伝子増幅法によって病原診断が可能です。治療は、他の急性肝炎と同様に対症療法のみです。ワクチンはまだ作られておらず、予防はA 型肝炎と同様に、汚染地域に滞在するとき、加熱処理したもの（飲料水、食物）のみを摂取するように注意することしかありません。E 型肝炎は 4 類感染症に定められています。診断した医師は直ちに管轄の保健所に届け出ねばなりません。報告のための基準は次の通りです。

症状や所見からE 型肝炎が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・血清抗体の検出

例：特異的 IgM 抗体が陽性のもの

- ・病原体の遺伝子の検出

例：RT-PCR 法による遺伝子の検出

（文責・根岸昌功）